

目からウロコの

プロに聞く

投資塾

角川 総一氏

今回は単純化した二つ 二一三年先まで続くとい
の金利シナリオを示した
上で、それぞれの運用の
基本を考えます。ここで
も、キャピタルリスクの
ある商品は手控えます。
考え方は簡単です。想定
期間内に得られる収益を
最大限にするための基本
的な選択肢は「どれだけ
の期間の商品を選ぶか」
と「変動金利、固
定金利商品のどち
らにするか」です。

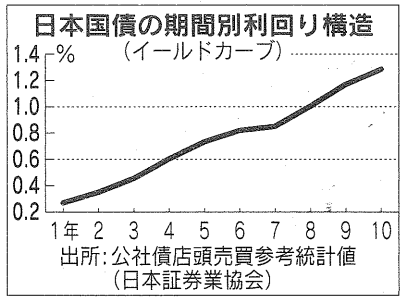
ゼロ金利時代の資産運用 ④

金利を提示している金融
機関もあります。
気をつけるべきは途中
解約利率。予想外に金利
が上昇し始めたときなど
途中解約してより高い金
利の預貯金に乗り換えよ
うとした場合、途中解約
利率が極端に低い場合が
あります。途中解約利率
のチェックは必須です。
次に、現在のゼロ金利
は予想以上に短いとい
うシナリオです。これは米
欧を中心とした政府、中
央銀行による金融機関へ
の資金拠出、不良資産の
買い取り、大型減税など
で新興国、日米、そして
やや遅れて欧州各国の美
体経済が一気に好転する
というストーリーです。
おそろく円高は一巡して
緩やかな円安傾向に移行
していくでしょうが、こ
の時には並行して金以外
の一次産品価格も底入れ
して上昇に転じることが
想定されます。

長期化に備え商品選び

まず二一三年は
金利はほとんど上
がらないとするシナリオ
です。現在〇・一%の政
策金利（無担保コール翌
日物）がゼロに下がり、

の資金拠出、不良資産の
買い取り、大型減税など
で新興国、日米、そして
やや遅れて欧州各国の美
体経済が一気に好転する
というストーリーです。
おそろく円高は一巡して
緩やかな円安傾向に移行
していくでしょうが、こ
の時には並行して金以外
の一次産品価格も底入れ
して上昇に転じることが
想定されます。



この場合、期間二一三
年の固定金利型預貯金の
なかで比較的高い金利を
選択するのが原則で
す。銀行間市場での
信用収縮が続いてい
るほか、一月中下旬
まではボーナス期と
いうことも手伝い、
各金融機関ともに相
対的に高い預金金利
を提示しています。
中には三年物で一・
四一・五%という
の資金拠出、不良資産の
買い取り、大型減税など
で新興国、日米、そして
やや遅れて欧州各国の美
体経済が一気に好転する
というストーリーです。
おそろく円高は一巡して
緩やかな円安傾向に移行
していくでしょうが、こ
の時には並行して金以外
の一次産品価格も底入れ
して上昇に転じることが
想定されます。

極端に言えば、今年第
三・四半期あたりからこ
うです。(この項おわり)